

畠 貞 一 郎

大河の会

カーボンニュートラルに対する市長の所見

質 カーボンニュートラルとは、温室効果ガスの排出量を実質的にゼロにすることであり、再生可能エネルギーは、それを指す一つの手段でしかないが、市長の所見は。

答 市では、地球温暖化対策として省エネルギーの励行や再生可能エネルギー導入促進等のほか、CO₂の吸収に貢献する秋田杉の再造林の促進に取り組んでいる。引き続きこれらの取組を進めていくとともに、さらなる強化を図りながら、一自治体として国の、2050カーボンニュートラルに貢献できるように努めていきたいと考えている。

八峰能代沖洋上風力事業の地元貢献

質 八峰能代沖洋上風力事業に応募しているJREがENEOSホールディングスへの買収が決定した。今後このようなことが起こり得ることから、業者の地域貢献は約束できることと考えているか。

答 選定事業者から地位の承継の申し出があった場合は、従前の認定公募占用計画を変更せずに承継するべきものと、公募占用指針に記されている。市としては、事業者は国が定めた公募占用指針に基づいて公募占用計画を作成し、提出することから、事業譲渡があったとしても、同計画に沿った事業が遂行されるものと考えている。

その他の質問事項

- エネルギー価格の高騰に対する施策
- 法定協議会の存在意義についての市の考え
- 今後の能代市について市長の考え

菊 地 時 子

改革ネットワーク（市民の声、シリウス、日本共産党）

精神障がい者福祉対策

質 当事者を中心に家族、医療、福祉、ボランティア、知人等でワンチームとなり、協力体制ができれば心強いとの声がある。多職種チームによる訪問型支援を充実する考えはないか。

答 現在の訪問支援体制は、各相談支援事業所や保健所による訪問支援であるが、サービスの利用ができていない障がい者に対しては、アウトリーチ事業の中で把握し、行政、事業所等関係機関による支援会議で対応を検討し支援していることから、相談事業所等に御相談いただきたいと考えている。

誰もが利用できる交通手段の確立

質 高齢者の多くが通院時などに交通手段の確保を求めている。バスの乗り降りが困難な人や身体に障がいのある人は便利な巡回バスを利用できない。誰もが利用できる交通手段を確立できないか。

答 障がいをお持ちの方や車椅子の方など、誰もが利用しやすい公共交通の構築に向け、事業者と連携し、取組を進めるとともに、他市の事例や市民の皆様様の要望を踏まえながら新たな交通手段についても調査研究していきたいと考えている。

その他の質問事項

- 精神障がい者の地域移行支援の充実
- 身体的ケアにも留意する精神科医療の確立

安 岡 明 雄

改革ネットワーク（市民の声、シリウス、日本共産党）

北高跡地から畠町にかけてのデザイン化

質 畠町の再開発が準備組合の設立で今後具体化していく。北高跡地から畠町の連なり、ストリートを生かしたストーリーづくりが幸福共創の理念に繋がるが、デザイン化や事業後押しなどの考えは。

答 畠町第一地区再開発準備組合は収益性を踏まえた実現可能な構想を民間の自由な発想で検討することになると考えている。現在、北高跡地では利活用についての検討が進められ、駅前ではマルヒコプロジェクトが進行中である。まずは構想策定の勉強会や講演会等に対して支援し、構想が固まった段階でその後の支援方法を検討したいと考えている。

持続可能なまちづくりは住民参画から

質 厳しい財政状況と市民サービスの維持を考える時、地域課題を住民自ら解決しようとする取組が必須である。そのためには自律した地域づくりを進めるのが重要となるが、支援制度が有効では。

答 市では、自治会・町内会、まちづくり協議会等の地縁による団体への支援のほか、活動目的を同じくする方が構成する団体に対し、能代市市民活動支援センターによる助言等を行っている。また、地域資源を活用した取組や市民参画型のイベント等、市民が主体となつて提案する取組の活動費を支援しており、支援体制の継続や充実を図っていきたい。

その他の質問事項

- 予算編成過程における目的と効果の検証
- 自治体DXの推進と専門部署の設置
- イオンの集客力とまちづくりのつながり